# 2018年1月25日（木曜日）の琉球新報に
# 第5回グッドライフアワードの受賞について
# 紹介されました！

琉球新報　2018年（平成30年）1月25日　木曜

## 「パンの缶詰」最優秀大臣賞

### うるま パン・アキモト

【うるま】環境に優しい社会の実現を目指す地道な活動に贈られる第5回グッドライフアワードに、うるま市州崎で防災備蓄用の「パンの缶詰」を製造するパン・アキモト（本社・栃木県、秋元義彦社長）の「救缶鳥プロジェクト」が選ばれた。缶詰を製造している同社の沖縄工場では「製造に携わる者として、大きな励みになる」と受賞を喜び、新年の稼働に当たっている。

賞味期限3年の非常食の缶入りパン「救缶鳥」を製造、販売し、賞味期限が残り1年になると、同社が下取りして、国内外の被災地に無償で提供するプロジェクト。環境省が実施するアワードで環境大臣賞の最優秀賞に輝いた。昨年12月に都内で表彰式があり、秋元社長らが出席した。

1995年の阪神淡路大震災の際、栃木県からトラックにパンを載せて救援に向かったが、賞味期限を過ぎてしまった製品もあった。これをきっかけに、軟らかくて保存の利くパンの缶詰を開発。備蓄用の「救缶鳥」は2005年から稼働している州崎の沖縄工場で主に生産している。

環境大臣賞の最優秀賞を受賞したパン・アキモトの秋元義彦社長（中央）＝2017年12月、都内

沖縄工場の豊田優係長は「作り出したものが廃棄されず、しっかりと役立っているということは、私たち働く者のモチベーションも上がる」と受賞を喜んでいる。

## 小中高生が熱演

### 「さわりんと運玉義留」西原の魅力PR

【西原】西原町の小中高校生が出演する創作演劇「さわりんと運玉義留（うんたまぎーどぅ）」が21日、西原町与那城のさわふじ未来ホールで開かれた。随所に笑いがちりばめられながらも、小中高校生らが見せる真剣な演技やダンスに涙を浮かべる観客の姿もあった。フィナーレでは観客が総立ちになり、出演者らは充実の表情で、感謝の言葉を口にした。

フィナーレで息の合ったダンスを披露する「さわりんと運玉義留」の出演者ら＝21日、西原町与那城のさわふじ未来ホール

ビジネスを通した町おこしに取り組む「NSBP（西原町学生ソーシャルビジネスプロジェクト）」の活動の一環として始まり、昨年に続いて2回目の公演となった。

劇は、運玉森のさわふじに住む妖精さわりん（町のキャラクター）と、貧しい人たちを助けるために金持ちから盗みを働く義賊・運玉義留の友情物語。尚円王となった金丸など、西原に縁のある歴史上の人物も登場する。

最後のあいさつで、運玉